

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、21～25℃台を示し、やや低め～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで前週並み（前年並み）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の70%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり4kgの水揚げで、前週の80%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり150kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり99kgの水揚げで前週の1.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.6トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川町地区では、マアジなどが1日1統当たり72kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり527kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり197kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり118kgの水揚げで、前週の44%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/4～7/8の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は能登沖から北海道西沖に移動した。赤イカは北太平洋に出漁。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～能登半島沖～山形沖にかけて出漁した。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。漁場は壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～能登半島沖～山形沖に形成された。主漁場は山口沖、隠岐海峡及び能登半島沖となった。（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>